

第2回 福岡市都市計画マスタープラン改定検討懇話会 議事概要

- 1 日時 令和6年3月28日（木）10:00～12:00
- 2 場所 TKP エルガーラホール 7階 会議室1
- 3 出席者 朝廣委員、有岡委員、坂井委員、辰巳委員（オンライン参加）、
田中委員、濱崎委員、三谷委員、吉武委員
- 4 会議次第 ① 開会
② 説明
③ 意見交換
④ 閉会

5 委員からの意見概要

【市民意見概要・将来人口推計・次期福岡市基本計画（素案）関係】

発言者	意見概要
委員	・福岡市の将来人口推計に加えて、都市圏人口や昼間人口の動向も重要。 ・昼間人口が増加すると、都市基盤に関係してくるので、注意してもらいたい。
委員	・次期福岡市基本計画（素案）の中で、舞鶴公園・大濠公園や九州大学箱崎キャンパス跡地が新たに魅力・活力創造拠点に位置付けられたことは良い。 ・市全体や都市圏のことを考えると、イノベーションの拠点となる魅力・活力創造拠点が、博多湾沿いだけでなく、もう少し点在しても良いのではないかな。
委員	・20代の転出入など、若者の動向は大事であるが、理系の就職先が少なく、今後の10年、20年を考えたときには産業開発が重要。 ・国際都市として、外国人の生活環境を整えるなど、外国人の人口動向も踏まえて、手を打っていくことが大事。
委員	・単独世帯が増えていくという話だったが、高齢者が1人で残されるケースと、若者が結婚しないで単独世帯が増えるケースがあり、ケースによって政策の方向性は違ってくるのではないかな。
委員	・福岡市の中心部で昼間は勤務し、周辺自治体に居住するパターンも多いため、都市圏内の周辺自治体との連携は重要。
委員	・市民意見の中でも、子ども・教育に関する意見が多いが、日常生活圏域に子どもが遊べる施設があると、子ども同士が一緒に遊ぶことを通して、親同士の繋がりが生まれることがあり、コミュニティにとっても大事。 ・そうした視点を都市計画マスタープランの中に入れていくことが大事ではないかな。
委員	・九州の中で福岡は別格で、他の県は人口が減少する中、福岡市は成長が著しく、九州の中で人材の受け皿となっている。 ・福岡が伸びることで九州を支えるという視点で、広域的な役割を担えているかをチェックしてもらいたい。

【基本理念1（現計画）関係】

発言者	意見概要
委員	・ 交流や活力は、福岡を牽引する上で重要なポイントだと思うので、しっかり頑張ってもらいたい。 ・ 東と西の拠点にも、交流や成長の要素が広がっていくのは非常に重要なこと。 ・ 福岡は、中心部にお寺がたくさんある街であり、そのような歴史資源を大事にすることは重要な取組み。 ・ 特に、通りや参道、境内からの見え方などに配慮したルールづくりは大事。
委員	・ 関東ローム層で大きな木が育ちやすい東京とは異なり、福岡のような扇状地では、大きな木を育てることが難しいが、今ある大きな木を計画的に保存して、ランドマークになるような樹木景観をつくっていくことが大切。 ・ 単に大きな木を残すのではなく、こういった大きな木を育てていくのか、今後100年200年ぐらいのスパンで、福岡の緑づくりを考えるべき。
委員	・ 志賀島・北崎については、観光振興だけでなく、福岡の魅力である美しい自然の景観を守るルールづくりも必要ではないか。 ・ 市民意見の中で交通に関するものが多いが、空港が都心に近いことは、福岡の魅力の一つになっており、空港からの公共交通がわかりやすく、シームレスに繋がっていることが、観光振興にとっても大事。 ・ ユニバーサルデザインという意味でも、公共交通の整備は大事。 ・ 今後、団体旅行者ではなく、個人旅行者が増加する外国人観光客にとっては、空港が都心に近いだけでなく、どこの観光地にも公共交通で行くことができる都市となれば、魅力が向上する。
委員	・ 交通については、九州における空港、新幹線、鉄道、高速道路などの広域交通における福岡の位置づけという視点が必要。 ・ 九州各県とつながっている、結びつきの強さが福岡のポテンシャルであり、九州に対して福岡が担っている役割でもあるのではないか。 ・ 民地のセットバックだけではなく、道路空間も多様な使い方ができるようになっているので、魅力的な都市空間を実現できる場として、道路も位置付けてもらいたい。
委員	・ 志賀島・北崎の自然環境だけでなく、ウォーターフロントなど、海辺の景観についても触れてもよいのでは。
委員	・ リーダー都市として周辺に良い影響を及ぼすためには、新たな産業の創出が重要。 ・ 今は商業が中心になっているが、物流は伸ばす余地があるのではないか。 ・ その他にも、新たな産業の創出のためには、土地利用や交通を考える必要があるので、考えておいたほうが良いのではないか。 ・ 交通については、福岡の魅力を伸ばすために、ウォーターフロントや九大箱崎キャンパス跡地でできることないかを検討してはどうか。

【基本理念2（現計画）関係】

発言者	意見概要
委員	・ 幸福度を高める要因は、人との関係性や、社会状況、心身の健康などがある。 ・ 若者は友人との関係性、高齢者は健康が大事など、世代によって重視するポイントが異なるため、今後の人口動態も踏まえながら、様々な世代の幸福度を高めていくような都市づくりができれば良いのではないか。
委員	・ 高齢者だけでなく、次世代を担う子どもの視点は大事。 ・ 休日に、子どもを連れて、どういうところで時間を過ごすかは、幸福度に関わる大事なポイントであり、身近に子連れで散歩できる環境があると良い。 ・ 福岡市全体に川が広がっており、川沿いを歩けるようにすれば、魅力的な場所になるのではないか。

発言者	意見概要
委員	・子どもや若者だけでなく、子育て世帯が暮らしやすいまちづくりをアピールしてもよいのではないかな。
委員	・高齢化が進む中、地域の自治会に参加する若者が少なくなっており、テーマ型の NPO などにも力を入れて、パートナーシップ型の都市づくりを進めるべきではないかな。
委員	・将来的には人口は減少する中で、当面の人口増加の受け皿となるようなマンションの建替促進策が必要。 ・多くのマンションで容積消化率が高く、建て替えが困難な状況であり、高齢者が歩いて暮らせるような環境をつくるという意味では、鉄道駅周辺において区域を設定し、重点的に規制を緩和して、マンションの建て替えを促進させることが有効ではないかな。 ・福岡市は全体として人口が増加するため、立地適正化計画を策定する必要性はさほどないが、部分的に人口減少や高齢化が進むエリアもあるので、例えば、後期高齢者の単独世帯の状況など、課題を整理しておくことも重要ではないかな。
委員	・生活の質を高める都市づくりという意味では、拠点以外の住宅地も大切。 ・他都市では、民間活力と規制緩和によって、住宅団地を建て替える事例が出てきており、参考になるのではないかな。 ・立地適正化計画を策定しなくても、拠点や、拠点以外の住宅地などに誘導する施設について、福岡市独自の概念で検討できないかな。
委員	・マンションの建替促進策を検討する際には、単に建て替えを促進するのではなく、コミュニティ活動を活性化するようなものを誘導すると、生活の質の向上などにつながるのではないかな。 ・子育てしやすい公営住宅など、住宅政策と連携して取り組むのがよいのではないかな。
委員	・過去の地形や土地利用を踏まえて、防災上の拠点を形成する必要がある。

【基本理念 3（現計画）関係】

発言者	意見概要
委員	・脱炭素社会の実現に向けて、住宅への太陽光パネルの設置を促進するという可能性もあるのではないかな。
委員	・太陽光パネルを住宅に設置するのはよいが、空き地に無秩序に設置され、今後の開発を阻害しないようにする必要があるのではないかな。 ・太陽光パネルについては、設置だけでなく、10 年後、20 年後の廃棄までの一連の環境負荷を検討してもらいたい。
委員	・太陽光パネルが山の斜面などに設置され、土砂の流出や景観上の問題を引き起こしていることに加えて、九州では、晴天時に発電量が増加し、電力量が余って出力調整が必要な状況にあることから、太陽光パネルの設置については、全面的に推進するというわけではないスタンスを持ってもらいたい。
委員	・無電柱化は、景観上も、防災上も大事な取り組みであり、都心部のほかにも、幹線道路沿いや主要な観光スポットでも、順次電柱を取り除き、クオリティの高いまちになってもらいたい。
委員	・水の問題が世界的なトピックになる中、福岡市の成長は、筑後川に大きな負担をかけており、筑後川上流への植林など、市として行動する責務があるのではないかな。 ・アイランドシティの緑地をより多くの人に使うことは重要であり、エコパークゾーンの景観を保全するとともに、自然生態系を強化してもらいたい。 ・都市農地について、平時は地域コミュニティが活用して生産活動を行い、災害時には地域の防災コミュニティとして機能させてはどうか。 ・里山周辺の拠点形成のため、開発規制だけでなく、ホテルを立地させるなど、保全すべきものは保全しながら、開発とのバランスについて知恵を絞ってもらいたい。

発言者	意見概要
委員	・高度経済成長期につくられたインフラの老朽化が進んでいくことは間違いなく、整備だけではなく、更新などの言葉もどこかに入れておいた方が良いでしょう。 ・災害ハザードエリアについては、個別にリスクを評価して見極めるべき。 ・災害は避けられないので、被害を最小限に抑えるような考え方を入れるべき。
委員	・生産緑地地区だけでなく、用途地域の一つである田園住居地域についても、都市の中の農地に関わるコミュニティの保全という意味で大事になってくるので、何か位置づけた方がよいのではないかと。

以上